



令和 元年 6月 24日

真庭市議会

議長 古南 源二 殿

真庭市議会議員 緒形 尚 印

調査研究、研修会、要請・陳情活動届

政務活動費を使用して、下記のとおり研究、調査等を行いますので届けます。

記

1 区 分 調査研究 ~~研修会~~ ~~要請・陳情活動~~

2 訪 問 先

◎台湾視察

・新北市瑞芳区（九份）

・宜蘭県宜蘭市（CLTビル）

・台北市（旅行会社、日台交流協会）

※ 詳細は、別紙スケジュール表

3 内 容

視察目的

・視察：九份の行政、商店組合理事との意見交換、交流会

・視察：宜蘭CLTビル（CLT利用施設）

・市内旅行会社との意見交換会（訪日旅行について現地調査）

・氷讃（ジャージー牛乳入りかき氷の可能性調査）

・日台交流協会訪問（日本と台湾の概要説明）

4 行 程 別紙のとおり

5 事務局から訪問先への依頼 ~~必要~~ ・ 不要



(注) 複数の議員で実施する場合、代表者の届けでよいが、参加議員名簿を添付すること

台湾視察 7月17日(水)~7月20日(土)

●参加者

- 氏平 篤正 真庭市議会議員
- 福井 莊助 真庭市議会議員
- 福島 一則 真庭市議会議員
- 河野 慶治 岡山県議会議員
- 長恒 充 蒜山酪農業協同組合組合長
- 池田 博昭 (一社) 真庭観光局理事・湯原観光協会会長
- 松尾圭一郎 湯原観光協会理事
- 緒形 尚 真庭市議会議員

台湾視察 台湾国内スケジュール

2019年7月17日(水) ~ 7月20日(土)

月 日	時 間	移動等	スケジュール	予約	備 考	
7/17 (水)	13:55		岡山空港集合 空港チェックイン			
	15:55	飛行機	岡山空港発			
	17:40	飛行機	台湾桃園国際空港着	タイガーエア IT215便		
	18:30		各自ホテルに移動			
	19:30		ホテル着 (チェックイン)			
			宿泊	康華大飯店/ゴールデンチャイナホテル 台北市中山區松江路306號	○ 各自個室 / ※揚昇旅行社で手配済み	
7/18 (木)		車 (手配済み)	朝食		各自宿泊先にて	
	未定		ホテル出発			
	未定		日台交流協会訪問		日本と台湾についての概要説明	
	未定		市内旅行会社訪問 (2~3社)		訪日旅行についての現地調査	
	12:00		昼食			
	15:00		九份視察		九份 (新北市瑞芳区) の行政、商店組合理事との意見交換会、交流会、親睦会	
	18:00		地元の方たちとの懇親会			
			宿泊	纓樓金瓜石民宿 新北市瑞芳區山尖路93-1號	○	
	7/19 (金)			車 (手配済み)	朝食	
未定		ホテル出発				
未定		宜蘭CLTビル視察			CLT利用施設の視察	
12:00		昼食 (吉姆老爹啤酒工場) 宜蘭縣員山鄉員山路二段411號				
		台北市内へ移動				
		微風広場視察			移動時間によっては省く可能性あり	
		冰讃 (マンゴーかき氷)			ジャージャー牛乳入りかき氷の可能性調査	
		国立台北博物館				
19:00		夕食 (熱炒)				
	宿泊	康華大飯店/ゴールデンチャイナホテル 台北市中山區松江路306號	○	各自個室 / ※揚昇旅行社で手配済み		
7/20 (土)		MRT	朝食		各自宿泊先にて	
			チェックアウト後各自空港へ移動			
	9:30		空港チェックイン			
	11:30	飛行機	台湾桃園国際空港発	タイガーエア IT214便		
	15:05	飛行機	岡山空港着			




様式第2号

# 報告書

令和元年11月29日

真庭市議会議長 古南 源二 殿

報告者 真庭市議会議員 氏名 緒形 尚 

下記のとおり政務活動費を使用して 調査研究・研修会・要請陳情活動をいたしましたので、その結果を報告いたします。

1	日 時	自 令和元年7月17日 (午前・ <input type="checkbox"/> 午後) 1時00分 至 令和元年7月20日 (午前・ <input type="checkbox"/> 午後) 6時00分
2	場 所	台湾 (台北市・新北市・宜蘭市) ----- ----- -----
3	用 件	台湾と真庭市をつなぐための視察 ----- ① 九份の商店組合理事との意見交換会・交流会 ----- ② 宜蘭CLT建築物視察 ----- ③ 日本台湾交流協会訪問 ----- ④ 岡山県物産品フェア視察
4	概 要	----- 別紙のとおり参加者の意見をとりまとめ、報告します。 ----- -----



・視察参加者（市議会議員）

- ① 氏平 篤正
- ② 緒形 尚
- ③ 福井 莊助
- ④ 福島 一則

・視察参加者（市議会議員以外）

- ① 池田 博昭（真庭観光局理事）
- ② 河野 慶治（岡山県議会議員）
- ③ 長恒 充（蒜山酪農農業協同組合長）
- ④ 松尾 圭一郎（湯原観光協会理事）

# 視 察 報 告 書

## ● 日本台湾交流協会

現在、日本と台湾に正式な外交関係はない。1972年、日本と中華人民共和国が国交を正常化させるに際して、日本はそれまで国交があった台湾の中華民国と断交したのである。それ以後、現在まで「台湾」は「台湾」であり、国交がない状態になっている。だが、日本側には交流協会、台湾側には亜東関係協会があり、実質的な関係は維持されている。今回伺ったのは、日本台湾交流協会である。

公益社団法人・日本台湾交流協会を訪れ、経済部主任・安永正念氏（長崎県職員出向）から日本と台湾の関係及び台湾概況について説明を受けた。

台湾の基本概況であります。総統（中華民国の第14代国家元首）は蔡英文氏で、人口は約2,359万人（2018年）で日本の約5分の1であり、面積は3万6,197km<sup>2</sup>（九州とほぼ同じ）である。言語は、中国語（公用語）であるが、台湾語、客家語を話す地域もある。

在留邦人は18,688人である。

2018年の人的往来数は、日本から台湾を訪れる方は約197万人（前年比3.7%増）であり、台湾から日本を訪れる方が約476万人（前年比4.2%増）となっている。日本と台湾を結ぶ航空路線は、定期旅客便が636便/週（2018年冬季）、定期航空路線は31路線となっていて、多くの人々が行き来をしていることが分かります。

次に、台湾の高齢化について説明を受けました。日本においても少子高齢化がどんどん加速して進んでいますが、台湾においても少子高齢化はものすごいスピードで進んでいるそうです。台湾の指針では、高齢化社会（高齢化率7%~14%）高齢社会（高齢化率14%~21%）超高齢社会（高齢化率21%~）と分けていて、高齢化率（65歳以上の人口が総人口に占める割合）でいうと、2017年に13.2%で高齢化社会であったが、2018年から急激に進み2021年には16.8%と高齢社会になり、2016年からは更に高齢化が進み2030年には24.4%と超高齢化になるとされている。今後、日本の2倍のスピードで高齢化が進み、2060年には日本の高齢化率に追いつく見込みとなっている。ちなみに出生率は、台湾：1.21で日本：1.44である。高齢化と同時に少子化も深刻な課題である。

台湾の経済を見ると、1人当たりのGDPは2万5,000ドル（2018年、名目）である。（日本は3万8,440ドル）実質GDP成長率は2.63%（2018年）である。

日系企業数（拠点含む）は1,229企業（2018年10月）で、台北市日本工商会会員企業数は480社（2019年1月）となっている。

経済成長率の推移と当面の見通しとして、台湾の2018年第4四半期における実質GDP

成長率は、前年同期比+1.78%となり、10四半期ぶりに1%台の成長率に鈍化した。他方、2018年通年の実質GDP成長率は+2.63%となっている。2018年第4四半期では、家電売り上げの減少等によって個人消費の成長寄与が+0.82%と2四半期連続で1%を下回った。また、機械設備への投資減少等により固定資産形成の成長寄与が+0.45%と前期(+1.14%)から減速した。輸出の成長寄与については、世界経済の減速と前年の基準値の高さの影響を受けて、2四半期連続で1%を下回る+0.85%となった。2019年の通年の成長予測は+2.27%となり、全壊発表時点(2018年11月)の予測値から0.14%ポイントの下方修正となった。スマートフォン等の電子製品への需要鈍化、半導体産業の在庫調整に加え、世界経済の見通しの不確実性等が減速要因として指摘されている。

雇用についても説明があり、求人倍率は1.79で、失業率は3.67%となっています。業種別の平均給与・新卒者(カッコ内は全体、単位は台湾元)は、製造業26,782台湾元(50,896)、小売・卸売業26,457台湾元(50,025)、ホテル・レストラン業25,068台湾元(34,191)、金融・保険業31,690台湾元(88,936)、医療・保健・サービス業27,733台湾元(67,052)、運輸・倉庫業28,328台湾元(54,766)、専門・科学及び技術サービス業29,345台湾元(61,336)、支援サービス業25,199台湾元(37,325)、全体平均27,055台湾元(48,790)となっている。

2019年1月1日から、法定最低賃金は23,100台湾元/月、150台湾元/時となっている。

台湾主要都市の産業、台北市は、各企業が本社機能を置くため、サービス業、貿易業等が多い。政治・経済の中心地であり、人口約267万人。また、台北を囲む新北市の人口は約400万人である。電子関係企業が集まる土城には鴻海の本社がある。

桃園市は、国際空港の桃園空港があり、自由貿易区も設けられ、人口は約222万人である。光学・電子の大手企業工場も多い。中壢、観音には日系大手企業工場もある。国瑞自動車(トヨタ)、ヤマハ、日華化学等がある。

新竹市は、サイエンスパークを中心に、ICT関係の企業が集積している。ITRI(工業技術研究院)、TSMC(台積電)、信越化学、HOYA等がある。人口は約45万人である。

台中市は、工作機械、機械部品、自転車、光学等の各種製造業が集積していて、人口は約280万人である。主な企業は、台中精機、永進機械、百徳機械、GIANT、裕隆汽車(日産)、キャノン、AGC等がある。

台南市は、光学・電子や太陽光関連企業集積している。南部科学工業園区(サイエンスパーク)には日系企業誘致に特化したTJパークがある。人口は約188万人である。高速鉄道駅がある沙崙にはグリーンエネルギーサイレントパークを整備中である。

高雄市は、台湾最大の貿易港であり、石油化学業や鉄鋼業、造船業などの重工業、金属加工業が集まっている。人口は約277万人である。主な企業は、台湾中油、中国鋼鉄、高雄晶傑達光電科技(ジャパンディスプレイ)等がある。

日台間の貿易については、輸出、輸入ともに、機械及び電機設備の占める割合が大きい(輸出:約55%、輸入:約38%)であり、その中でも、半導体等が含まれる電子部品のシェ

アが大きく、輸出額全体の約33%、輸入額全体の約20%を占めている。日本にとって台湾は、米、中、韓に続く4番目の貿易相手であり、台湾にとって日本は、中、米に続く3番目の貿易相手国である（輸出先としては2番目）

#### ◎日本産牛肉の解禁

台湾当局は、2017年9月18日に日本で2001年に牛海綿状脳症（BSE）感染牛が確認されて以来禁止していた日本産牛肉の輸入を16年ぶりに解禁した。2018年の輸入金額は40億6,600万円で、カンボジア、香港に次いで輸出先第3位である。

#### ◎日系企業の台湾ビジネス展開事例

- |         |                                                                                       |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 2018年2月 | 伊藤忠商事（東京）、トリケミカル（山梨）、安川電機（福岡）                                                         |
| 3月      | TDK（東京）                                                                               |
| 4月      | 信越ポリマー（東京）、東京センチュリー（東京）、九電工（福岡）                                                       |
| 5月      | 三井物産（東京）                                                                              |
| 6月      | あきんどうスシロー（大阪）、がってん寿司（埼玉）                                                              |
| 9月      | 松屋フーズ（東京）、ヤマハ発動機（静岡）、テラ（東京）                                                           |
| 10月     | マツモトキヨシ（千葉）、日本食研（愛媛）                                                                  |
| 12月     | 三井不動産（東京）、UCC上島コーヒー（兵庫）                                                               |
| 2019年1月 | うかい（東京）、JR東日本（東京）                                                                     |
| 4月      | 鹿児島銀行（鹿児島）、近鉄リテールHD（大阪）<br>星野リゾート（長野）、双日、JXTG、中国電力、中電工、四国電力<br>上野グループ（横浜）、日立化成、台湾日立亜太 |
| 5月      | 三菱地所（東京）、アステリア（東京）                                                                    |
| 6月      | ペッパーフードサービス（東京）                                                                       |

※ 多くの日系企業が、台湾でビジネスを展開している。

#### ◎台湾のコンビニエンス・ストア

2018年の台湾のコンビニエンス・ストアの市場規模は、3,374億台湾元（約1兆1,584億円）であり、2017年末で1万487店がある。店舗の密集度は平均で、人口2,247人当たり1店舗の計算である。韓国（1,452人当たり1店舗）に次いで世界第2位の密集度である。（セブンイレブン：5,222店舗、ファミリーマート：3,154店舗）

以上、安永氏より台湾の概況を詳しく説明いただき、予定時間を大幅に超えていましたが意見交換をさせていただきました。



Q: 高齢化が急速に進むことにより、今後の経済成長や実質 GDP 成長率等々に影響を及ぼすことになると予測されている。日本でも、少子高齢化が進み人口減少対策として若者定住や子育て支援等々の対策を講じているが歯止めがきかない状況である。台湾では、どのように考え対策するのか？

A: ご指摘のとおり台湾も高齢化率がものすごいスピードで上昇していて深刻な問題である。台湾では、若者が多いが出生率は 1.21（日本：1.44）であり少子化が進んでいる。結婚しても現在の若者の給与では共働きしないと生活できない状況にあり、子どもを 2～3 人産むことは生活・家計を直撃するので生活自体を考えている。子育て施策も重要だと認識している。日本のように介護施設が多くあるが、台湾では少ない。介護施設の充実も国策として力を入れてきている。

Q: 現在、台湾人の 5 人に 1 人が日本を訪れている。岡山県真庭市に観光客が訪れていただくために、交流協会として何かあれば教えていただきたい。

A: 台湾と真庭市の友好交流については、台湾の人々が真庭に行ってみたいと思えるような観光スポットや体験・交流できる仕組みを考えることが大切だと思う。

#### ◎まとめ

今後いかに真庭にインバウンド誘客による観光振興の取り組みができるか？ 目的を明確にし、行政や議会が台湾を訪問することも重要だと思った。また、台湾からも来ていただくこともあわせて重要だ。インバウンドとアウトバウンドを上手に組み合わせて誘客につなげたい。真庭産の農産物や乳製品等々の販路拡大を目指して取り組むことも重要と考える。

※ 日本台湾交流協会、セキュリティが厳しくカメラ・スマートフォン等の持込禁止のため交流協会事務所前にて記念撮影



## ● 新北市樹林區公所

昨年訪問時は、新北市瑞芳區公所の區長であった陳奇正氏が、新北市樹林區の區長に就任（市長の選任）されている関係で樹林區を訪問させていただいた。まずは、玄関の電光掲示板に「歓迎 日本岡山懸真庭市」とあり區役所全体での大歓迎でした。昨年お会いしたことを鮮明に覚えてくれていてこちらが恐縮するくらいで、訪問の成果が少しですが出ていると感じました。挨拶を済ませ區長室にとおされVIP待遇を思わせる歓迎会が始まりました。

まず、陳區長が「河野岡山県議、真庭市議会議員の皆様をはじめ視察団の皆様、ようこそ樹林區へ。河野議員、緒形議員、今回は樹林區で2度目の出会いができとてもうれしいと思います。去年の6月に岡山県倉敷美觀地区に行きました。倉敷の自然風景と歴史建築が極めて綺麗で、今でも強く印象に残っています。このあと、區役所の職員が日本語で樹林區の概要についてプレゼンテーションするので、樹林區の歴史、教育、觀光などさらに詳しく知っていただければよろしいと思います。

プレゼンテーションが終わったあと、皆様を芸文館、図書館、保健所、国民運動センターに連れて行き、そこで良い思い出が作れたらいいなと思っています。

真庭市には、湯原温泉、蒜山高原、勝山久世エリアなどの觀光地、農産品、工芸品、グルメなど、各種の觀光資源を持っていて、四季折々の美しさを楽しむことができます。今度、機会があったら是非真庭市にお伺いしたいと思います。最後に太田市長様に樹林區へ来ることをいつも歓迎しているとお伝えをお願いします。では、今回の視察訪問が円満に終わりますようにお祈り申し上げます。」と、陳區長から歓迎の言葉をいただきました。

早速に區長室から会議室に移動し、樹林區の説明を受けました（日本語学校を出ている郭さんが通訳）樹林區は、先住民が鉄製の風除けを多く設けていたことから風櫃店と呼ばれていた。清朝の乾隆年間、河川の氾濫が相次ぎ、堤防沿いに植樹を行う治水事業を行ったことから樹林と呼ばれるようになった。1686年、清朝により台北地区に諸羅県を設置し、後に淡水庁、南雅庁、桃園庁に編入された。1920年、台北州海山郡鶯歌庄に属するようになった。1945年に中華民國による台湾領有が行われると、翌年地方改革があり街庄を廃止して郷鎮が設置され、同年8月1日に鶯歌鎮が分離した。1999年には人口は15万を突破し樹林市に昇格、2010年12月25日には台北県が新北市に改編されたことに伴い樹林區と改編され現在に至っている。

説明の後、陳區長の案内で市内の施設を見学する（案内は、陳區長をはじめ、秘書課の郭さん、文化課の高さん、いずれも日本語学校出身で日本語でしっかり説明を受けました）

まずはじめに、山佳駅旧駅舎を見学する。日本時代の1931年に完成した和洋折衷建築。2011年の新駅舎開業に伴い役目を終えたが、元の場所に保存され、修復工事が行われた。2017年には工事が完成し、旧駅舎は日本時代当時の優美な姿を取り戻した。現在は、展示資料を通して駅や町の歴史に触れたり、旧駅舎内や旧ホームで駅員の帽子をかぶって記念撮影を楽しんだりできる人気の觀光スポットとなっている。

次に、3D トリックアートストリートを見学する。旧駅舎わきの山佳街にたつ建物の壁には3D トリックアートが描かれている。農村時代や炭鉱時代の風景、懐かしい商店の様子が生き生きと表現されており、壁画で町の歴史をたどれるようになっている。記念撮影スポットとしても人気がある。

その後、文化施設（図書館・保健センター等）やスポーツ施設（プール・体育館等）の見学をする。



視察団 大歓迎！！



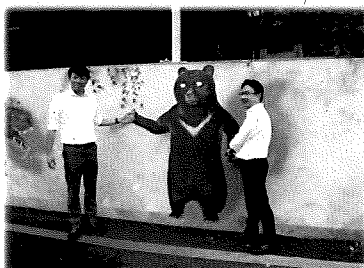
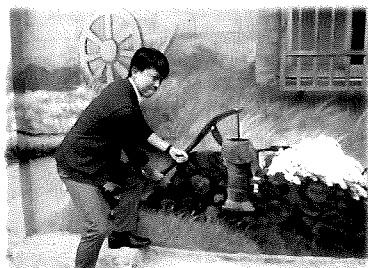
市議会議員有志



陳區長 歓迎の挨拶



統治時代の駅舎



3D トリックアートストーリーの一場面



体育館



体育館の中にあるプール

## ● 九份商店街

### ・金鉱の街

その昔、九份は台湾の一寒村に過ぎなかったが、19世紀末に金の採掘が開始されたことに伴い徐々に町が発展し、日本統治時代に藤田組によりその最盛期を迎えた。九份の街並みは、日本統治時代の面影を色濃くとどめており、路地や石段は当時に造られたものであり、酒家（料理店）などの建物が多数残されている。

しかし、第二次世界大戦後に金の採掘量が減り、1971年に金鉱が閉山されてから町は急速に衰退し、一時人々から忘れ去られた存在となっていた。

その九份が・・・

### ・観光地化

1989年、それまでタブー視されてきた二・二八事件を正面から取り上げ、台湾で空前のヒットとなった映画『悲情城市』（侯孝賢監督）のロケ地となったことにより、再び脚光を浴びるようになる。映画を通じて、時間が止まったようなノスタルジックな風景に魅せられた若者を中心に多くの人々が訪れ、メディアにも取り上げられるなど、台湾では1990年代初頭に九份ブームが起こった。ブームを受け、町おこしとして観光化に取り組んだ結果、

現在では街路（基山街など）に「悲情城市」の名前を付けたレトロ調で洒落た喫茶店や茶藝館（ちゃげいかん）、みやげ物屋などが建ち並び、週末には台北などから訪れる多くの人々で賑わっている。また、世界の旅行ガイドブック（台北付近）にも多数紹介されており、今では台湾を代表する観光地のひとつとして定着している。

宮崎駿のアニメ映画『千と千尋の神隠し』のモデルになったという噂もあり、日本の観光客への知名度が高まったほかに台湾でも知られ、「神隠少女 湯婆婆的湯屋」の看板がモデルとされる茶屋のそばに掲げられている。（スタジオジブリや宮崎氏により、これは公式に否定されている）

2008年11月末、経済部の中小企業処は「(民國)97年度革新科学技術の応用群聚計画」を実施し、九份地区に群聚のウェブサイト、無料の無線Wi-Fi（利用範囲は基山街と豎崎路の人気があるスポットの約90%を含む）、ネット商店、リアルタイム映像システム（九份風景と人潮および天気を見られる）、QRコードシステム（商店と商品の紹介）などの関連技術を導入し、古い町の九份でも現代的なデジタル技術を活用できるようになっている

また、日本統治時代に建てられた古い建物が残ることから、どこか懐かしい雰囲気は漂う町並みは日本人の琴線に触れ、今や台湾で行きたい観光地ナンバーワンとなりました（年間800万人が訪れている。日本からの観光客は200万人と伺った）

九份商店街を訪れるのは2回目である（初訪問のメンバーもいる）到着後、商店会の理事長の茶藝館に通され意見交換をしました（陳樹林區長も同行）ここに年間800万人の方が訪れている。日本人は200万人の方が訪れている（修学旅行の方も多く、今回も多く的高校生が訪れていました）

理事長のお父様は90歳で、日本が統治していた17年間、日本人として生活されていて日本語が堪能であり、我々と日本語で話せてとてもうれしいとおっしゃっていました。

意見交換では、前回訪れたときに話した交流について話しました。理事長以下、数名の役員の方も同席をされていて全員が前向きなご意見だったと思いました。今後は、具体的にどうするか（アクション）が課題であります。我々としては、まず湯原温泉の観光関係者が九份を訪れ具体的な交流の中身を検討していくことが近道だと感じ、商店会の方にお伝えをして進めることとしました（池田観光局理事も納得し湯原で検討することを約束した）

懇親会では、陳樹林區長をはじめ商店会の役員さんが多数参加して歓迎をしていただき、九份の提灯を80個（在庫が80個ありすべていただいた。在庫が他にもあればまだいただけた）九份の提灯を湯原温泉で生かすことが湯原観光協会の腕の見せ所だと思います。昨年訪問させていただいたことが成果となったと感じました。

湯原温泉に人が訪れれば蒜山高原にも行く。蒜山高原に人が訪れれば湯原温泉にも行く。真庭市内も観光地を巡っていただける戦略の手段として九份との交流は重要なことだと思います。

太田市長にも、是非とも台湾に足を運んでいただきたいと思い、帰国後に市長に直接想いをお伝えしました。



NO. 1の人気スポット



楽しく意見交換



集合写真



提灯ゲット!

## ● CLT 建築物のレストランと有機農産物販売店

銘建工業さんは、台湾の木造建築物（3階建て）に使用されるCLT（直交集成板）および集成材を受注されました。台湾では環境配慮型の「緑建築」の普及を推進する建築政策の下、環境性能の高い木造建築への関心が高まりつつあり、銘建工業さん、一般社団法人日本CLT協会が当地の関係諸団体と共同開催した「台日木構造建築新技術交流検討会」に協力するなど、当地におけるCLT普及活動に注力してこられました。その結果として、環境意識の高い施主さまの理解を得てCLTを使用した木造建築の提案が採用されることになり、新築向

けとしては日本製 CLT 初の輸出案件となりました。

銘建工業さんは、日本国内での CLT 市場開拓はもちろん、今回の成約を足掛かりに海外での市場開拓にも積極的に取り組み、日本の森林の価値を世界に向けて発信していきたいと考えられていて、今後も議会としても応援していきたいと思えます。

○ 建築物概要として

- ・ 所在地：264 宜蘭縣員山鄉員山路二段（英語表記：Sec. 2, Yuanshan Rd., Yuanshan Township, Yilan County 264, Taiwan (R. O. C.))
- ・ 主用途：レストランと有機農産物販売店
- ・ 敷地面積：323.00m<sup>2</sup>
- ・ 建築面積：162.62m<sup>2</sup>
- ・ 延べ面積：637.85m<sup>2</sup> (580.65m<sup>2</sup>)
- ・ 構造：(地上) 木造軸組 (地下) RC 造
- ・ 階数：地上 3 階、地下 1 階
- ・ 設計・監理者：九典聯合建築師事務所宜蘭分所・陳尚鋒建築師事務所
- ・ 設計協力者(構造)：富田構造設計事務所
- ・ 施工者(木工事)：徳豊木業股份有限公司
- ・ 竣工予定：2018 年 8 月
- ・ 使用木質構造材 使用量と用途  
CLT 89.5m<sup>3</sup> ヒノキ 用途：床、屋根  
集成材 46.5m<sup>3</sup> ヒノキ 用途：柱、梁

\* 本事業の一部は高知県産材を使用した輸出実証事業としても位置付けられています。



CLT 建築物

## ● 岡山県物産フェアの視察

台北市内の微風広場デパートにて、伊原木岡山県知事・蓮岡岡山県議会議長、自らトップセールという事で台湾との交流と特産品の販売に岡山県庁あげて取り組んでいました。日本の空港の中で、お客伸び率第4位が岡山空港だそうです。そのほとんどが、タイガーエアが飛ぶ台湾からの訪問客であります。残念ながら真庭産の物はありませんでした。

伊原木知事と蓮岡県議会議長、忙しくPRをされていましたが、少しお時間をいただき意見交換をしました。知事も議長も、台湾の方が5人に1人が日本を訪れている中で、どう岡山県に来ていただくか？今が重要なときだと考えているようで、できることはやって、他の地域との差別化を図るよう行動されているようです。

今後、真庭産の物産品が台湾に輸出できるようになればと思っておりますが、すぐに対応できる話ではなく時間が必要であり、成し遂げる思いも重要であります。今後ともしっかりと検討していきます。



伊原木知事・蓮岡県議会議長と視察団